

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード

イベント通過後は「ボーナスステージ」に?



先週末のギリシャ再選挙で財政緊縮推進派が勝利し、ユーロ離脱懸念が後退。週明けの株式相場にもリスク後退とともに見直しが広がった。ただ、まだ欧州問題は拭えたわけではなく、G20首脳会議、ユーロ圏財務相会合、欧州首脳会議まで協議が続くものと見られる。また、米国では追加金融緩和の動向が思惑視されるFOMC（連邦公開市場委員会）も控えており、重要イベントが目白押しだ。

このイベント注視の流れを踏まえて、前回コラムでは「難しい相場では『打診売買』が最適!」と題して、少額からの打診売買の必要性を説いたが、先週提供した「20万円以下」の銘柄を対象とするレポート銘柄では、早くも夢の街創造委員会（2484）が目標株価となる10%上昇率を達成するなど、難しい相場環境のなかでも打診売買を駆使して利益を上げられた方も多いのではないか。

さて、イベント注視の「買い難い」流れが続いていたが、イベント消化とともに、そろそろ「買い易い」相場が到来しそうだ。タイミングも先週の四季報発売から、夏のボーナス支給シーズンも重なり、投信などを通じて株式市場への資金流入も見込まれる。まさに「ボーナスステージ」の到来を予感させる局面だ。

そこで弊社では、ボーナステーマを題材とした「厳選5銘柄付き緊急市況レポート」を発売することにした。厳選銘柄やレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。